

日本共産党葛飾区議会議員団

き むら

こんこ
ちは

木村ひでこです



事務所 葛飾区青戸5-27-5 2021年
TEL:03-3690-8631 携帯090-8640-5378 4月号

天候に左右されず、計画的な水泳指導のために、日本共産党区議団は、必要な遮光ネットや屋根の設置など、今、早急にできる対策を求めましたが、教育委員長は後ろ向きです。明らかに、プール廃止ありきで進んでいることがわかります。教育長は、「子どもの意見を聞く必要がない」という主旨の発言をしました。これは子どもの権利条約を逸脱するものです。発言の撤回を求めます。

区教育委員会は、昨年12/25に「今後の水泳指導の実施方法に関する方針」で学校プール廃止の方針を打ち出しましたが、関係者や住民の意見を、まともに聞かず、こうような方針を決定したことは重大です。

教育長が「子どもの意見は聞かなくてもよい」と暴言

生活・法律相談

毎月第一水曜日 18:30~ 木村ひでこ事務所にて
木村ひでこ事務所若しくは携帯にお電話下さい。

切実な区民要求のため

4つの議員提出議案

第1回定例会では、4本の条例を提案しました。

今回は、党区議団とみずま議員（無所属）との共同提案です。

内容は、①議員が本会議、



委員会に出席するたびに3千円支給する費用弁償の廃止、②未就学児の国民健康保険料均等割の5割軽減、③15歳までの医療費無料化を18歳まで拡大、④75歳以上の医療費の5割軽減です。

これは毎日の生活に欠かせない、区民のみなさんが求めていたものです。みなさんの代表者として選ばれた議員により決定されるのですが、残念ながら否決されました。木村ひでこ区議会議員は、これからも区民のみなさんの生活に寄り添った施策になるよう努めてまいります。

番号	件名	付託委員会	審査結果	会派名								備考
				自民	公明	区民	共産	革新	無所属	無所属	無所属	
12	議員提出 議案 第2号	葛飾区国民健康保険条例の一部を改正する条例	保健福祉 否決	x	x	x	○	x	x	x	x	○ x
13	議員提出 議案 第3号	葛飾区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	保健福祉 否決	x	x	x	○	x	x	x	x	○ x
14	議員提出 議案 第4号	葛飾区高齢者の医療費の助成に関する条例	保健福祉 否決	x	x	x	○	x	x	x	x	○ x
15	議員提出 議案 第1号	葛飾区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	総務 否決	x	x	x	○	○	x	x	x	○ x

PCR検査一步前進

26日、本会議で議決された補正予算案には、党区議団が求めてきたPCR検査の拡大のための費用が盛り込まれました。

民間児童施設

民間の児童施設などは陽性者が出た場合、希望する職員の検査でしたが、今年度からは、月1回検査ができるようになりました。

公立児童施設

公立児童施設や小中学校では、陽性者がでても検査は対象外でした。

これまで党区議団は、なぜ、民間の施設と同じようにできないのかと要求してきました。今年度は陽性者がでた場合は対象となりました。

高齢者入所施設

高齢者入所施設、介護事業所、障害者通所施設やグループホームなど（約1千施設）の職員は、年度内1回限りでしたが、月1回の検査が可能です。

高齢者

高齢者の検査は、1回限りで3千円でしたが、月1回1千円に。基礎疾患がある64歳未満の方は、診断書（3千円程度）提出で無料でしたが、今年度からは、自己申告で診断書が不要となり、自己負担1千円となります。

今回の補正予算は、一步前進ですが、感染拡大防止のためにPCR検査を無料で実施することや、医療機関や高齢者施設の社会的検査の更なる徹底を求めてまいります。



区長に10回目の要望書を提出

ワクチン頼みでなく、大規模検査、十分な補償、医療機関への支援、感染症対策の基本的な施策を実施するよう求めました。

2020年度（令和2年度）は、区が扶養紹介をし経済援助に至ったのは、399件中、16件にすぎません。扶養紹介とは、親族に経済援助を求めるのですが、これが「家族に知られるのが嫌だから」と保護を利用する大きな壁になっています。

区は、「一応義務」と言いますが、生活保護法に、必ずしも扶養紹介をしなければならないとされておらず、木村区議は、区HPの「扶養紹介の扶養は生活保護法による保護に優先します」という文言を改善するよう求めました。（予特・第二）

ギガスクール構想の実現に向けた1人一台のタブレット

教育委員会が貸与している、1人一台のタブレット端末についてのプリントには、「ご家庭の事情でwi-fiを用意することが難しい時は、プリントを配布するので、学習状況に差が生じないようにするから安心して下さい」と書かれていました。

木村ひでこ区議は、「ご家庭の事情でwi-fiを入れることができない児童の気持ちを考えたことがあるのか。経済的な差や、家庭の事情を子どもに意識させるのは好ましくない」と指摘しました。区教委は、丁寧に対応・検討すると答弁しました。（予特・第四）